

その他の飲食店における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	配達帰り、バイクで外灯が無く、暗くて道幅も狭い道路を走行中に、前方歩行者に気づかず衝突し転倒する。	19	—
7	3～4	勤務終了後、店舗を出発しバイクで走行中、道路の形状が山なりになっていたため、下からでは頂上付近の見通しが悪く、前方に停車している車両の列の最後尾に気が付くのが遅れた。気が付いた時に衝突を回避しようとして急ブレーキをかけたが、停止しきれず、バイクから投げ出されて転倒した。	42～49	1
10	8～9	自宅から自転車で向かう途中、雨風でタイヤが滑り転倒。	68～69	10
11	11～12	配達の為、軽バンに乗り走行している時、前方から車が来た為、道路の左側に寄ったところ道路の端の段差に左前輪がはまり、ハンドルをとられてしまい、そのまま前方の電柱に車体の左前から衝突した際、前頭部、胸部、膝を打ち負傷する。	38～39	10
12	23～24	三輪付バイクで配達中の往路にて、裏路地の緩やかなS字カーブの終わりで悪路にハンドルを取られてしまい、前後輪にロックがかかりスリップし、そのまま左側駐車場に駐車してあった車両2台に接触し転倒した。	22～29	10
12	22～23	ゴミをゴミステーションに捨てに行く際、横断歩道を渡らずに道路を渡っていたところ、左から来る車に轢かれた。	66～69	10

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html